

2 静電気による火災

静電気による危険物の火災・爆発事故では、事故件数に対して負傷者が多く発生しています（静電気火災等 1 件あたりの負傷者数：0.91 人/1 件、事故全体における 1 件あたりの負傷者数：0.19 人/1 件）。

きちんと静電気対策を行ってれば、多くの静電気火災は防ぐことが出来ます。**自身や仲間の安全のためにも静電気対策の再確認をお願いいたします。**

1 静電気火災発生のメカニズム

- ①異なる 2 つの物体が摩擦等することにより静電気が発生する。
- ②静電気が蓄積し、火花が発生する。
- ③可燃性蒸気に引火して、火災になる。

2 静電気火災を防ぐために（一例）

- ・ **アース、着衣等できちんと帯電防止を行う。**
- ・ 配管やホース内を流れる危険物の流速を遅くし、帯電しにくくする。
- ・ 水を撒く等、湿度を高くする。

3 県内の事故事例

○ガソリンスタンドの計量機を点検していたところ火災が発生した。
点検業者がアースを取らずペール缶にハイオクガソリンを注油したため、摩擦帯電により静電気火花が発生し、ハイオクガソリンの可燃性蒸気に引火した。（H26）

4 危険物施設における静電気による火災・爆発事故件数（埼玉県）

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
事故総数	31 件	32 件	27 件	42 件	28 件	29 件	22 件	33 件	29 件	30 件	303 件
(負傷者数)	(3 人)	(5 人)	(2 人)	(14 人)	(7 人)	(5 人)	(3 人)	(3 人)	(6 人)	(11 人)	(59 人)
静電気火災等	1 件	1 件	0 件	7 件	7 件	4 件	0 件	6 件	4 件	2 件	32 件
(負傷者数)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(7 人)	(6 人)	(3 人)	(0 人)	(2 人)	(6 人)	(5 人)	(29 人)